



トランジションエネルギー



O&M-Xソリューション

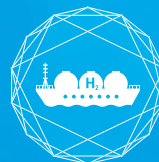


金属・先端素材

エンジニアリング  
「社会の“かなえたい”を共創する」  
Enriching Society through Engineering Value



ライフサイエンス



脱炭素ソリューション



エネルギーマネジメント

# 株主通信

2025年度 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日

# 株主の皆様へ



代表取締役社長

太田 光治

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2025年度の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社は、創業以来、常に社会とともに歩み、70年以上にわたりエンジニアリングの力で、時代ごとの“かなえたい”に貢献してきました。しかし今、脱炭素、安全保障、インフラの老朽化、そして多様性の尊重など、社会が直面する課題や期待は、かつてないスピードで変化しています。

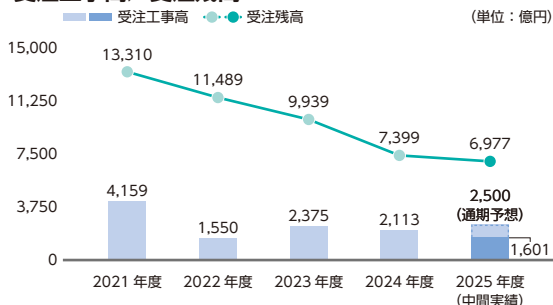
こうした急速な変化の時代においても、社会の“かなえたい”に応え続けるために、私たちは次なる10年に向けて、自らを変革し続ける覚悟を新たにしています。

## 自己変革をテーマに掲げた「経営計画2025」

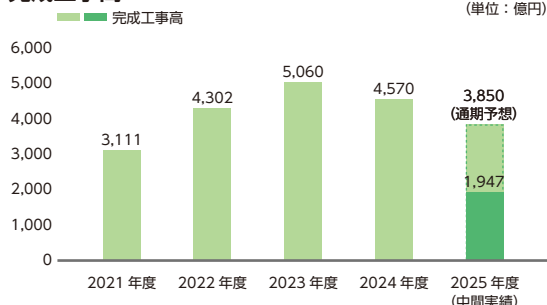
当社は、本年5月に新たな中期経営計画として「経営計画2025」（本中計）を発表しました。本中計では「自己変革」を中心テーマに掲げ、収益構造の安定化、EPC（設計・調達・建設）事業の変革、事業共創の推進、人財の拡充など、今後3年間の重点課題に対する具体的な取り組みを明確にしました。

## 財務ハイライト

### 受注工事高／受注残高



### 完成工事高



本中計は単なる事業ポートフォリオの見直しではなく、当社が10年後の目指す姿の実現に向けて着実にステップアップするための実行計画です。この自己変革を成し遂げることで、収益の安定と事業の成長の両立を図り、持続的な企業価値創出の実現を目指します。

## ゴールデンパスLNGプロジェクトの進捗

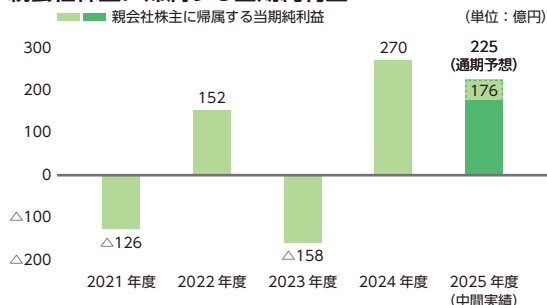
米国のゴールデンパスLNGプロジェクトは、2024年5月にジョイントベンチャーパートナーの1社が離脱し、当社を含む残された2社で再スタートを切ってから1年が経過しました。EPC契約の改定が必要となる天然ガス液化設備3系列のうち、第1系列は2024年11月に合意し、第2系列及び第3系列も本年6月に基本合意がなされ、11月上旬現在、契約調印に向けた最終段階にあります。

## 次世代に向けた価値創造

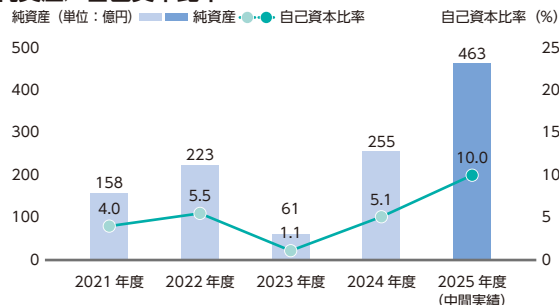
現在取り組んでいる「経営計画2025」の3年間は、私たちが描く未来を形作るための重要な自己変革の期間です。EPC事業の取り組み方を改革し、より強固で稼げる体制を築き上げることで財務基盤を強化すると同時に、事業共創の拡充を通じて、次世代に誇れる強い企業基盤を築き上げていきます。

これからも新たな価値を創造し続ける当社に、ぜひご期待ください。

### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 純資産／自己資本比率



(本項目に記載の金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しています。)

## 中期経営計画の状況

### 中期経営計画「経営計画 2025」2025 年度上期の状況

#### 定量目標、重点取組ともに概ね順調な滑り出し

定量目標		純利益150億円(3年平均)に向け、受注高、完工高とも計画を上回る推移
重点取組	海外既存大型プロジェクトの着実な遂行	<ul style="list-style-type: none"><li>・ゴールデンパスLNG: 第2系列及び第3系列は契約調印に向けた最終段階</li><li>・カタール NFE LNG: 設計・調達は終盤に入り、建設工事が進行中</li></ul>
	海外プロジェクト取り組み改革（受注方針）	中東においてリスク抑制を講じた中規模案件を受注
	国内プロジェクトの収益拡大	西部ガス(株)向けひびきLNG基地をはじめとした複数案件を受注
	事業共創の拡充	植物バイオファウンドリ事業の立ち上げや細胞/再生医療分野への進出で事業開発に向けた基盤構築が進む
	分厚い中核人財層の形成	成長加速をより意識した国内外・組織横断ローテーションを推進

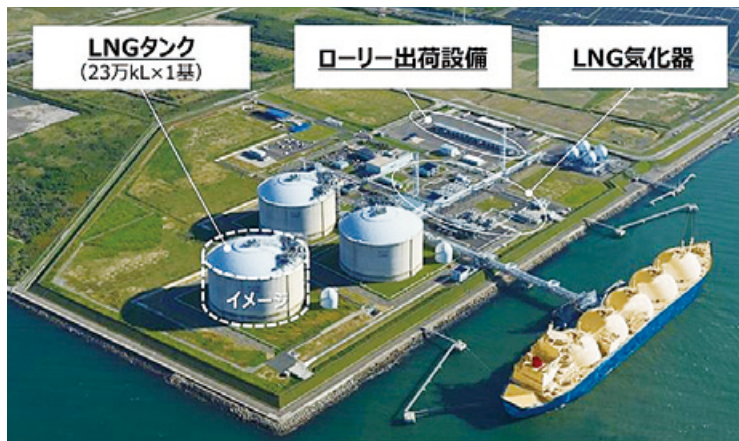
## 国内プロジェクトの収益拡大

### ■ 西部ガス㈱向けひびきLNG基地能力増強に係るプラント設備のEPC業務を受注

当社は、西部ガス㈱向けひびきLNG基地能力増強に係るプラント設備のEPC業務を受注しました。

本件ではLNGタンク1基が増設され、当社はプラント設備のEPC業務を遂行します。

当社は、LNGの安定供給を支える事業に多方面から取り組んでいます。



ひびきLNG基地能力増強完成イメージ図（画像提供：西部ガス㈱）

### ■ かねさ㈱向け顆粒みそ工場に係るEPC業務を完工

当社100%子会社、千代田エクスワンエンジニアリング㈱は、青森県青森市浪岡地区にてかねさ㈱（マルコメ㈱のグループ会社）向け顆粒みそ工場のEPC 業務を完工しました。新工場は、従来の約2倍（1億食分）の生産能力を備え、併設の「顆粒みそ体験館」では、津軽の魅力を体験できるカフェや展示コーナー、見学コースなどを有しています。

今後も当社グループは、幅広い分野で多様化する顧客ニーズに応えていきます。



顆粒みそ工場外観（画像提供：かねさ㈱）



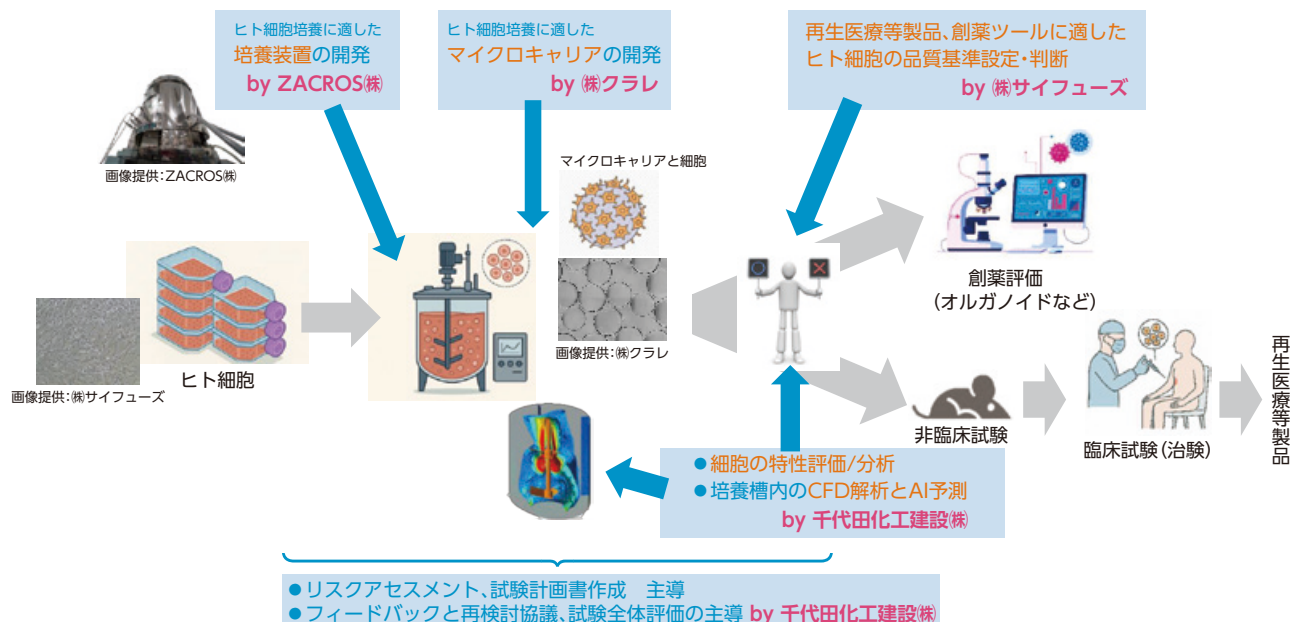
# 事業共創の拡充

## ■ 再生医療の産業化・社会実装に向けた共創

当社は、(株)クラレ、(株)サイフューズ、ZACROS(株)と共に、再生医療の産業化及び社会実装に向け、細胞の挙動を解析・予測する新規シミュレーションソフトを駆使した効率的な大量培養プロセス構築法の確立及びプラットフォーム化に関する共同開発に取り組めます。細胞培養状態を正確に把握し、培養結果を予測可能とするシミュレーションソフトを駆使した商業規模での細胞大量培養プロセスを4社で共同開発し、当社は分析評価技術及び数値流体力学（CFD）・AI技術を組み合わせることで、本取り組みに貢献します。

4社の技術連携により、再生医療や創薬分野における新たな知見の獲得とともに、ヒト細胞大量培養プロセス開発の効率化を進め、再生医療等製品の創薬支援ツールの開発に反映していく計画です。

### 4社共同研究開発の分担とアウトプット



## ■ 水から水素を作る大規模水電解システムの開発

当社は、2024年にトヨタ自動車(株)との間で、大規模水電解システムの共同開発及び戦略的パートナーシップ構築に関する協業基本合意書を締結しました。

2025年度から、トヨタ自動車(株)本社工場内に水電解システムの導入を開始し、実証や開発に活用される予定です。



トヨタ自動車(株) 本社工場 水素パーク (画像提供:トヨタ自動車(株))

## ■ バイオものづくりの実証基盤「植物バイオファウンドリ」事業の立ち上げ

当社は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発」に参画し、植物を用いた有用物質を生産する新規基盤技術の実証設備を建設しました。当社はこの設備を、植物バイオものづくりの実用化開発を受託する、国内初の「植物バイオファウンドリ」として立ち上げ、様々な機関や企業の研究開発を支援していきます。



実証設備に導入したプロセスを様々な物質生産に活用



植物バイオ実証設備

## 会社の概要 (2025年9月30日現在)

商号／千代田化工建設株式会社  
(Chiyoda Corporation)

設立／1948年1月20日  
資本金／150億14百万円

### 取締役

取締役会長	榑田雅和
代表取締役社長 C E O 兼 C S O	太田光治
取締役副社長執行役員 C W O	清水啓之
代表取締役専務執行役員 C F O 兼 C C O	出口篤
代表取締役専務執行役員	小林直樹
取締役	佐藤聡
社外取締役	松川良
社外取締役	救仁郷豊
社外取締役	黒木彰子
取締役(常勤監査等委員)	渡部修平
社外取締役(監査等委員)	松尾祐美子
社外取締役(監査等委員)	棕野貴司



### 千代田化工建設株式会社

〒220-8765

横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号

みなとみらいブランドセントラルタワー

電話：045-225-7777（代表）

<https://www.chiyodacorp.com/>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



## 株主メモ

事業年度  
期末配当金  
受領株主確定日  
定時株主総会  
定時株主総会基準日

### 公告の方法

一単元の株式の数  
上場証券取引所  
証券コード  
株主名簿管理人  
特別口座管理機関  
同連絡先

4月1日から翌年3月31日まで

3月31日

毎年6月開催

3月31日

そのほか必要がある場合には、取締役会の決議によりあらかじめ公告のうえ設定いたします。

電子公告により行う

公告掲載URL

<https://www.chiyodacorp.com/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

100株

東京証券取引所 スタンダード市場

6366

三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711（通話料無料）

（土・日・祝日等を除く平日9：00～17：00）



当社の取り組みについて詳しくは「CHIYODA REPORT 2025」をご覧ください。



### ■株式に関するお問い合わせ先

- 住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等の各種手続きについて
  - 証券会社等の口座に記録された株式  
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
  - 特別口座に記録された株式  
三菱UFJ信託銀行株式会社（特別口座管理機関）にお問い合わせください。
- 未受領の配当金について  
三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

[三菱UFJ信託銀行株式会社のお問い合わせ先]

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou>（土・日・祝日等を除く平日9：00～17：00）